

神奈川県における気候変動への適応策の取組例

| 分野 | 項目 | 対策 |
|---------------|-------------------------|---|
| 農業 | 農業生産総論 | <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化対策技術について、当県における試験研究成果の他、国や他県の研究成果、技術情報等を整理して、現場指導を実施 ・ハウス等倒壊・破損の大雪の被害があった施設農家を中心に、技術対策等助言指導を実施。また、施設栽培農家等に対し、施設の補強技術対策について技術支援を実施 ・農業共済制度及び収入保険制度の加入促進(周知) ・自然災害等に備え、農業保険(農業共済及び収入保険)への加入推進 神奈川県農業共済HP (http://www.nosai-kanagawa.jp/) 農水省HP農業保険のページ (http://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/syu_kyosai.html) |
| | 水稲 | <ul style="list-style-type: none"> ・夏の高湿による肥料切れを抑えるために、適量な追肥を実施 ・高温による障害を防ぐために、水の掛け流しを実施 ・新たな品種の導入にあたっては、耐暑性も選定基準として試験を実施 ・水稲の生育状況及び作業管理について、適宜HPで情報提供を行い、異常気象の際は対応について情報提供・指導を実施 (水稲・麦の生育状況 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450000/p580149.html) |
| | 果樹 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウンシュウミカンの貯蔵技術の開発と農家への技術支援を実施 ・ウンシュウミカン栽培農家に対して、秋の気温上昇が原因の浮皮対策として、植物調節剤の処理を指導。当所の試験研究においても浮皮対策技術試験を実施 ・リンゴの試験栽培においては、高温障害対策として散水を実施 ・ブドウの着色管理が不要である青系新品種の栽培方法について試験を実施 ・ブドウの着色促進のための夜間かん水を指導 ・ナシの生理障害に対応するため、果実表面温度の測定や袋かけによる効果試験を実施 |
| | 土地利用型作物 (麦、大豆、飼料作物等) | <ul style="list-style-type: none"> ・麦類・落花生については、国研究機関等と連携して耐暑性品種の選定を実施 ・飼料作物については、県内の気候、風土にあった多収量で良質な飼料作物の品種比較試験、作付奨励できる神奈川県飼料作物奨励品種の選定・普及 ・飼料用トウモロコシの二期作は、近年本県でも栽培事例が増加してきており、当所では、この技術が可能になる条件を明らかにするとともに、畜産農家におけるトウモロコシ二期作の安定栽培技術に関する技術支援を実施 |
| | 園芸作物(野菜) | <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ、ダイコンに対する地球温暖化の影響に関する試験研究を実施 ・イチゴの安定生産のため、局所制御(加温・冷却)技術について研究 ・施設野菜の環境制御技術に関する研究の一環として、細霧冷房(ドライミスト)による施設内気温の降温効果を確認 ・農家に対し、環境制御(遮光資材の普及や適切な換気、ヒートポンプ等の機器利用)の技術支援を実施 ・品種の導入の際には、夏の高湿等の変化に適応した品種を指導 |
| | 園芸作物(花き) | <ul style="list-style-type: none"> ・遮熱フィルムによる高温対策の試験を実施。また、株元・根域など局所温度制御による秋期の高温、天候不順など気候変動対策の検討を開始 ・寒冷紗被覆、適切な換気、葉水、ヒートポンプ利用などの技術支援を実施(「シクラメンの高品質栽培技術支援」等) ・降雨等曇天日の増加対策のため補光技術の現地調査を実施 |
| | 畜産 | <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化による飼料作物の生育条件の変化のため、自給飼料増産を目的とした研究を実施 ・農家に対しての実態調査、及び環境改善(暑熱対策)の指導を実施 |
| | 病害虫・雑草・動物感染症 | <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化が茶の害虫ハマキムシ類の発生消長に及ぼす影響について調査を実施中 ・調査対象病害虫の見直し及び新発生病害虫の調査手法の検討を実施 |
| | 農業生産基盤 | <ul style="list-style-type: none"> ・設計降雨強度については、過去の雨量データを基におおむね10年に一度の改定を実施 |
| 水産業 | 海面漁業・海面養殖業・造成漁場 | <ul style="list-style-type: none"> ・来遊魚類の変化について、漁海況をモニタリングし変動を把握 ・磯焼けの原因生物の駆除効果や生態等を調査 ・近年増加しつつある暖海性魚類(アイゴ等)の活用に向けた加工技術の開発と効率的な漁獲方法の検討 ・海洋環境の変化により、今後新たに増養殖が可能になると予想されるクマエビ等の種苗生産技術の開発 |
| | 内水面漁業・養殖業 | <ul style="list-style-type: none"> ・アユ産卵生態の把握のため、県下主要河川において産卵場調査、アユ仔魚降下調査を実施 |
| 農林水産業の その他 | 農林水産業従事者の熱中症 | <ul style="list-style-type: none"> ・屋外作業等での熱中症予防対策の徹底 |
| 水環境 | 湖沼・ダム湖 | <ul style="list-style-type: none"> ・ダム集水域において、生活排水対策を促進することにより、富栄養化の状態にあるダム湖の水質を改善 ・相模湖・津久井湖における曝気循環設備(エアレーション装置)による水質保全対策の継続実施 ・相模湖(よりよい環境のために http://www.pref.kanagawa.jp/docs/e4b/env/1804.html) ・津久井湖(城山ダム・寒川取水堰 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/vh6/cnt/f8018/p45936.html#kankyo) |
| | 沿岸域及び閉鎖性海域 | <ul style="list-style-type: none"> ・東京湾の溶存酸素等海洋モニタリング調査を実施し、数値シミュレーションにより貧酸素水塊の発生メカニズムを解明 |

| 分野 | 項目 | 対策 |
|-----------|----------------------|---|
| 水資源 | 水供給(地表水) | <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県内で異常渇水が発生した場合は、神奈川県異常渇水対策本部を設置 ・三保ダム(丹沢湖)のしゅんせつの強化 ・流芥対策 道志ダム及び相模ダムにおいては、流木止め施設を設置 沼本ダムにおいては、流木止め施設を更新 (流芥処理 http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p1106801.html) |
| 自然生態系 | 淡水生態系 | <ul style="list-style-type: none"> ・丹沢山塊に生息するヤマメやカジカなどの冷水魚について、分布や生態についての調査を実施 ・在来のヤマメの産卵場を造成 ・地球温暖化の影響を受け、分布が縮小している湧水域の絶滅危惧種・ホトケドジョウについて、飼育下における遺伝子保存と水辺ビオトープによる生息地の復元研究をNPOと連携して実施 |
| 自然災害・沿岸域 | 水害 | <ul style="list-style-type: none"> ・中小河川のうち、特に過去の大雨で水害が発生した河川や都市化の進展が著しい地域を流れる18河川において、重点的に河川整備(ハード対策)を実施 (都市河川重点整備計画<新セイフティーリバー> http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f360545/) ・水防災意識社会を再構築するため、「神奈川県大規模氾濫減災協議会」を設置し、ハード・ソフト対策を一体的に推進する取り組みを実施 (「神奈川県大規模氾濫減災協議会」について http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/bosai/mizu_vision/index.html) ・平成27年5月の水防法改正により、想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域図を作成・公表 (河川の氾濫による洪水浸水想定区域図 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f3747/p1039490.html) ・県内河川の氾濫の危険性をチェックするため、県内の時間雨量、及び河川の水位、河川監視カメラの画像をHPに掲載 (神奈川県雨量水位情報 http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/index.html) ・県内河川のうち注意を要する箇所や重要な施設が周辺にある箇所に、洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置し、その水位をホームページに掲載 (危機管理型水位計 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/bosai/kikikanrigata_suikei/settikasen.html) ・警察庁舎を整備(新築、大規模改修)する際には、庁舎内への浸水による電源喪失を防止するため、電気室、非常用発動発電機を上層階へ設置 ・浸水等が予測されている地域の警察庁舎に対して、電動防潮板、可搬式防潮板等を設置 ・神奈川県警察災害警備実施計画に基づき、気象警報等発表時における招集体制等を整備し、有事即応態勢を確立 |
| | 高潮・高波等 | <ul style="list-style-type: none"> ・漁具被害の防止のため、城ヶ島沖浮魚礁ブイの常時観測により黒潮系暖水波及による急潮予測を行い、定置漁業者者に情報提供 ・発達した低気圧に伴う吹送流が引き起こす急潮に関して、気象情報を判断基準とした予測を実施 |
| | 土砂災害 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑地の防災工事及び維持管理を推進 ・極端な大雨の発生時に、違反地、許可地等の監視・パトロールを実施 |
| | その他(強風等) | <ul style="list-style-type: none"> ・危険木伐採等の災害予防的な緑地の維持管理を推進 |
| 健康 | 暑熱 | <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防対策(予防に係る普及啓発)として、県・市町村熱中症予防連絡会議の開催、NHK-FMでの情報提供、熱中症予防啓発資料の配布、ホームページによる普及啓発 等を実施 (夏の健康管理「熱中症予防について」http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f7432/index.html) ・県内私立学校に対し、熱中症事故の防止について通知等で周知。また、国の啓発資料を送付 ・県内公立学校に対し、熱中症事故の防止についての通知等での周知及び事故後の対応について助言。また、国からのDVD、リーフレット、ハンドブック等を送付 |
| | 感染症 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生動向や、今後発生する可能性がある感染症を含め、様々な感染症に関する情報を一般県民等に向けて発信 (衛生研究所 感染症情報センターHP http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm) ・県ホームページや県のたより等で、予防策を周知 ・感染症の検査体制を強化し、患者の発生を監視 ・平成27年4月28日「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」が厚生労働省から告示(平成28年3月30日一部改正)され、県で「蚊媒介感染症対策ガイドライン」を作成し保健福祉事務所・センター、衛生研究所で対応 (蚊媒介感染症 http://www.pref.kanagawa.jp/docs/iy8/kansensyou/p1041712.html) ・観察定点を定めて、蚊の分布および病原体保有調査を実施 (蚊の生息調査について http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/cnt/ka/seisoku.html) |
| | その他の健康への影響 | <ul style="list-style-type: none"> ・光化学反応に寄与すると考えられている人為由来のNOxやVOC等の排出削減を推進 |
| 国民生活・都市生活 | インフラ、ライフライン等(水道、交通等) | <ul style="list-style-type: none"> ・雨水の浸入を抑制するために雨天時増水対策実行計画を策定し、流域市町に周知 ・交通情報を収集・提供するための光ビーコン等を整備し、交通流の円滑化を図るとともに、迅速な交通情報を提供 ・停電による信号機の機能停止を防止する信号機電源付加装置を整備 |